※　ノロ、ロタウィルス　に AP アクア水は有効です

資料の一部を抜粋 ↓　（ノロは代替ウィルスであるネコカリシで実施）

ＡＰアクアＫＳより生成された電解水の抗ネコカリシウイルス活性
および抗ヒトロタウイルス活性

平成 19 年 10 月 4 日
鳥取大学農学部
獣医感染症学
實方　剛

7.　結果

供試品の抗ネコカリシウィルス活性および抗ヒトロタウイルス活性を検討した結果、以下の成績を得た。

1）供試品の抗ネコカリシウイルス活性

ネコカリシウィルスに供試品の原液を 15 秒間感作させた場合、ウイルス増殖はウイルス対照の $10^{4.25}$ 低下し、120 秒間以上の感作では $10^{5.25}$ 低下した。供試品を 10 倍に希釈の場合には 15 秒間の感作で、ウイルス増殖はウイルス対照の $10^{1.75}$ 低下し、180 秒間以上の感作では $10^{4.5}$ の低下が認められた（表 1）。

2）供試品の抗ヒトロタウイルス活性

ヒトロタウイルスに供試品の原液を 15 秒間感作させた場合、ウイルス増殖はウイルス対照の $10^{4.5}$ 以下となった。供試品を 10 倍に希釈の場合には、15 秒間の感作で、ウイルス増殖はウイルス対照の $10^{2.0}$ 低下し、180 秒間の感作では $10^{3.5}$ の低下が認められた。100 倍および 1,000 倍の希釈した供試品ではウイルスの増殖抑制は認められなかった（表 2）。

表 1. 電解水の抗ネコカリシウイルス活性（$TCID_{50}$/50ul）

	感作時間（秒）						
電解水	0	15	30	60	120	180	240
原液	$10^{6.75}$	$10^{2.5}$	$10^{2.5}$	$10^{1.25}$	$10^{0.5}$	$10^{0.5}$	$10^{0.5}$
10 倍希釈	$10^{6.75}$	$10^{5.0}$	$10^{4.75}$	$10^{2.75}$	$10^{2.0}$	$10^{1.25}$	$10^{1.25}$
100 倍希釈	$10^{6.75}$	$10^{6.25}$	$10^{6.25}$	$10^{5.25}$	$10^{5.5}$	$10^{5.5}$	$10^{5.5}$
1,000 倍希釈	$10^{6.75}$	$10^{6.25}$	$10^{6.25}$	$10^{6.25}$	$10^{5.75}$	$10^{5.75}$	$10^{5.75}$

表 2. 電解水の抗ヒトロタウイルス活性（$TCID_{50}$/50ul）

	感作時間（秒）						
電解水	0	15	30	60	120	180	240
原液	$10^{5.0}$	$<10^{0.5}$	$<10^{0.5}$	$<10^{0.5}$	$<10^{0.5}$	$<10^{0.5}$	$<10^{0.5}$
10 倍希釈	$10^{5.0}$	$10^{3.0}$	$10^{2.75}$	$10^{2.75}$	$10^{2.5}$	$10^{1.5}$	$10^{0.5}$
100 倍希釈	$10^{5.0}$	$10^{4.5}$	$10^{4.5}$	$10^{4.5}$	$10^{4.5}$	$10^{4.5}$	$10^{4.5}$
1,000 倍希釈	$10^{5.0}$	$10^{4.5}$	$10^{4.5}$	$10^{4.5}$	$10^{4.5}$	$10^{4.5}$	$10^{4.5}$